

1. 現状と課題

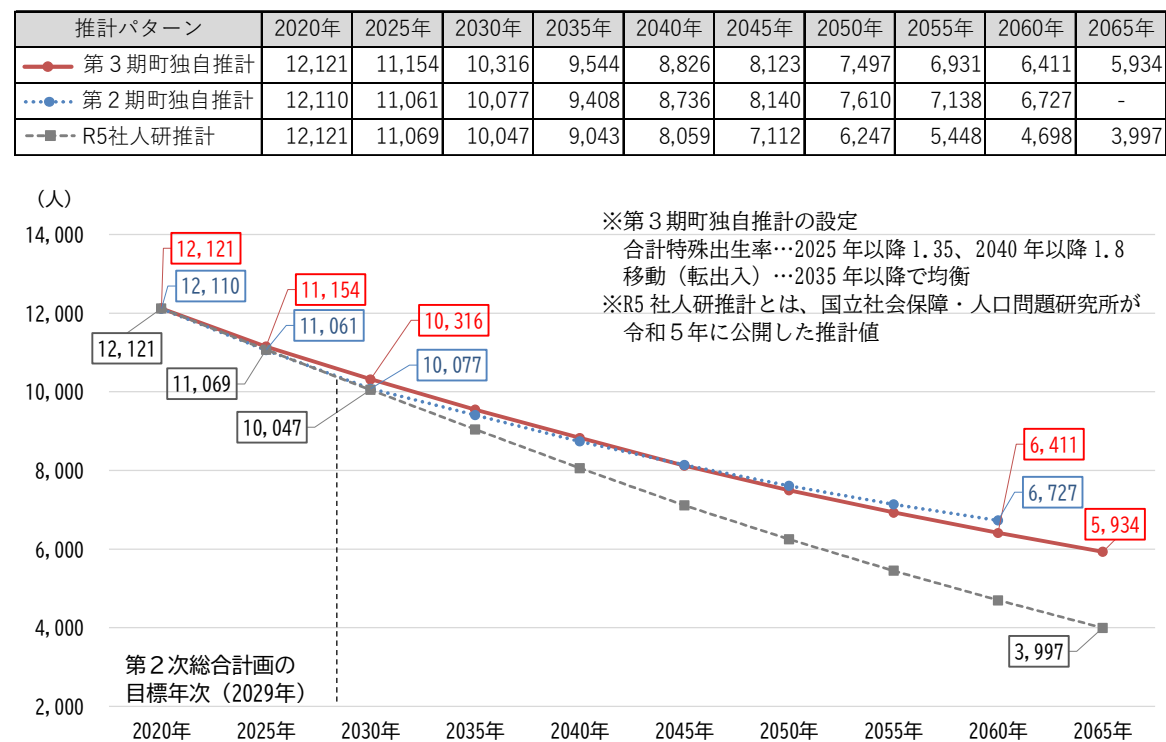
本町では、令和2年（2020年）3月に「第2期宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4つの基本目標と横断的な目標を掲げ、各種施策を実施してきましたが、人口減少は継続的に進行し、また、新型コロナウイルス感染症の拡大や、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震など、本町での暮らしに大きな影響を与える出来事がありました。設定した重要業績評価指標（KPI）については基準値を達成もしくは改善したものが多くありましたが、基本指標については未達成となりました。そのため、今後も「まち」「ひと」「しごと」の全てにおいて、さらなる充実が必要です。

2. 第3期に向けた取組方針

第3期総合戦略では、第2期総合戦略の達成状況や国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、「第2次宝達志水町総合計画」で掲げる本町のまちづくりのテーマ「育てよ！町の宝」の実現を目指し、子育て世代に選ばれるまち、誰もが安心して住み続けられるまちを実現するために、5つの基本目標のあらゆる分野で施策の拡充とデジタル技術の導入を検討し、より具体的な地域課題の解決に踏み込んだ施策を実施していきます。

3. 第3期 宝達志水町人口ビジョン

○目標人口は令和47年（2065年）において約6,000人（第3期町独自推計）とします。



4. 基本目標と施策の展開

赤字：第3期より追加 下線：デジタルの視点

宝を育てる 基本目標1 | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 数値 年間出生数：43人（R11）
目標 子育てしやすいと感じている世帯の割合：53%（R11）

- 切れ目のない子育てサポート
- ①充実した相談体制の整備 ②乳幼児健康診査
③児童遊戯施設の整備、管理 ④保育環境の充実
- ライフステージに応じた経済支援
- ①婚活サポート ②不妊治療・不育治療に対する助成 ③出産・成長祝い金
④保育料、保育所副食費の無償化 ⑤小中学校給食費無償化
⑥子ども医療費、医療的ケア児のサポート ⑦インフルエンザ予防接種費用助成
- 主体的に学ぶ教育の推進
- ①宝たち検定チャレンジ ②学びの意識改革の支援 ③デジタル教育の充実
- 豊かな人間性を育む学びの推進
- ①コミュニティスクールの推進 ②国際交流事業

宝を活かす 基本目標2 | 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする 数値 新規創業者数：18件（R7～R11）
目標

- 企業誘致や新たな雇用創出への支援
- ①企業誘致事業 ②起業・創業バックアップ等事業
- ふるさと納税の推進
- ①ふるさと納税推進事業
- 地域の特色を生かした農業振興
- ①新規就農者支援 ②農産物等ブランド化推進 ③スマート農業の推進

宝を活かす 基本目標3 | 本町とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる 数値 社会増減数：△20人（R11）
目標

- 移住・定住の促進
- ①移住促進事業 ②マイホーム取得奨励金 ③若者世代の定住の促進
- 生活基盤の充実
- ①宅地造成の推進 ②民間賃貸住宅建設補助 ③空き家バンク
- スポーツ交流の推進
- ①スポーツイベント振興
- ふるさと観光の振興
- ①官民共創まちづくり戦略の推進 ②観光イベントの支援
③ふるさと会との連携 ④観光スポットの整備

宝を守る 基本目標4 | ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 数値 住みよさ率：50%（R11）
目標 防災体制への不満度：5%以下（R11）

- 災害に強いまちづくり
- ①避難所等機能の強化 ②消防施設の整備
③防災情報等収集・発信力の強化 ④公共施設や道路等の管理・整備
- 地域コミュニティの充実
- ①自主防災組織の活動支援 ②地区防災マップの作成
③地域交通の推進 ④電子回覧板の推進
- 高齢者が安心して暮らせる環境の整備
- ①介護予防の充実 ②認知症支援の充実
③在宅高齢者のフレイル等予防事業 ④地域包括支援体制の整備
- 健康づくりの推進
- ①特定健診・保健指導の実施 ②がん検診の実施 ③地域組織の育成の推進
- 循環型まちづくりの推進
- ①住宅用太陽光発電システム等の補助 ②カーボンニュートラルの推進

宝を伝える 基本目標5 | デジタルの力で誰もが便利で快適に暮らせるまちをつくる 数値 住民サービス向上
目標 DX対応業務数：15件（R11）

- 情報発信力の強化
- ①ホームページやSNSを活用した情報発信の強化 ②情報提供システムの整備
- 地域社会のデジタル化の推進
- ①マイナンバーカードの活用 ②業務DX化の推進